




転置行列と内積

内積は、転置を用いて表現することもできる


ref: 行列と行列式の基礎 p78~79

 転置による内積の表現

$$(\mathbf{a}, \mathbf{b}) = {}^t\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = (a_1, a_2, \dots, a_n) \begin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \\ \vdots \\ b_n \end{pmatrix}$$



転置行列と内積は、次の公式によってうまく関係している

 随伴公式 A を n 次正方行列とすると、

$$(A\mathbf{u}, \mathbf{v}) = (\mathbf{u}, {}^tA\mathbf{v})$$

 証明

転置を用いて内積を書くと、

$$(A\mathbf{u}, \mathbf{v}) = {}^t(A\mathbf{u})\mathbf{v}$$

転置と行列積の順序反転性より、 ${}^t(A\mathbf{u}) = {}^t\mathbf{u}{}^tA$ なので、

$$(A\mathbf{u}, \mathbf{v}) = ({}^t\mathbf{u}{}^tA)\mathbf{v}$$

行列の積の結合法則を用いて、

$$(A\mathbf{u}, \mathbf{v}) = {}^t\mathbf{u}({}^tA\mathbf{v})$$

右辺を内積として書き直すと、

$$(A\mathbf{u}, \mathbf{v}) = (\mathbf{u}, {}^tA\mathbf{v})$$

となり、目的の等式が得られる ■
